

SCHOOL EXCURSION TO CANADA



学校法人 小林学園 本庄東高等学校

きりぐるま

第162号

建学の精神
本校は人間の尊厳を教え
社会に期待される素地を創り
人生に望みと喜びを
与えるところである

Whistler



今年も無事に行ってきた！二年生カナダ修学旅行。普段勉強している英語を会話に生かす、博物館見学などを通して歴史を知る、習慣・マナーの違いから異文化を体験する、現地の方々の人柄に触れる、買い物を楽しむ。一人ひとりの思い出の詰まった修学旅行について、A、B、Cの各班のリーダーに代表して語ってもらった。

ウィスラーは、同じ時期の日本と比べると寒かったです。しかし緑がたくさんあり、紅葉も見られるなど、自然が豊かできれいなところでした。夜と昼の様子も全然違い、夜は音楽などが聞こえてきて賑やかでしたが、昼間は落ち着いた印象を受けました。建物もきれいで、スーパーや飲食店、雑貨屋などもたくさんあり、日本ではあまり見かけない物を食べたり、カナダらしいお土産を買ったり、大変充実した自主研修となりました。

(B班二の五 荻野七虹)

Victoria



ヴィクトリアでは二つのことが印象に残っています。一つは、初めての班別自主研修を行うこの都市で、現地の人との会話で初めて英語を使ったことです。特に印象的だったのはレストランでのウェイトレスさんとの会話です。最初は大変でしたが、言葉を交わすたびに意思を伝えることができるようになりました。もう一つは、州議事堂や港、街並みなど、日本とは異なる建物・風景です。日本では見ることができない美しいものばかりでした。

(A班二の六 河野 祐希)

Vancouver



バンクーバーの自主研修では、お店やレストランでの現地の人々との会話を通して、生きた英語に触れ、日ごろ勉強している英語を積極的に使うことができました。また、Robson Streetや Burrard Streetなど、街中のすべての通りには必ず名前がつけられていて、日本では味わうことのできないカナダの雰囲気を肌で感じました。高校時代に異国の地で現地の人々と交流した貴重な経験を、これからの学校生活や将来の大きな糧にしていきたいと思います。

(C班二の二一 清水美帆)

小林玉枝 前理事長 お別れの会

十一月二〇日(火) 第一体育館にて、故小林玉枝前理事長・学校長のお別れの会が行われ、多くの方々のご参列をいただいた。式では参列者、その後全校生徒が献花を行い、玉枝先生のご冥福を祈った。先生が顧問を務めていた茶道部の部長に、思い出を語ってもらった。

私が茶道部に入るきっかけとなったのは、附属中学での茶道体験でした。顧問の小林玉枝先生は茶道に精通され、部員がお菓子を出したり、御点前をしたりしているとき、生徒に茶道の歴史や作法についてよくお話をなさっていました。玉枝先生との思い出で一番に残っているのは、初釜です。初釜とは新年最初のお茶会のことです。私が高校一年の時から始まりました。先生のすぐそばでお茶を楽しみ、直接ご指導いただいたり、お話ししたりしたのは忘れられない思い出です。

私たちが茶道部の精神として、「一期一会」があります。これは、同じ条件、同じ人たちで物事ができるのは一度きりだということ、一つひとつの物事を噛みしめる訓えです。玉枝先生と再びお茶を楽しむ機会を得られないことは残念ですが、これも茶道の訓え、一期一会なのだと思います。玉枝先生、本当にありがとうございました。

(三の二四 加藤 大海)



平成29年1月の初釜にて(玉枝先生の隣が加藤君)

県税納税協力団体等表彰式



十月十七日(水)、埼玉県知事公館にて行なわれた平成三〇年度県税納税協力団体等表彰式において、小林学園・小林弘斉理事長に対し、県知事より感謝状が贈呈された。

この表彰式は、納税の重要性を認識して納税思想の普及に努め、県財政に積極的に協力した個人や団体に対し、知事が直接、感謝状を贈るもの。本学園は、長年生徒が国語科の課題の一環として取り組んできた「税の作文」など、租税教育への貢献が認められ、今回、表彰されることとなった。